

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	魅力ある京丹波の里山づくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>平成17年10月の京丹波町発足以後「町まちづくり計画」及び「町総合計画」に掲げる基本方針に基づき、安定した行財政運営を推進するため「魅力ある産業をはぐくむ施策」を基本方針の一つと位置づけ、町のプロジェクトとして「安心・活力・愛のあるまちづくり」を掲げ積極的な事業展開を行っている。</p> <p>特に本町の基幹産業である農林業の現状は、高齢化の進行や後継者不足、零細な専業農家の増加、また木材需要の低下などが進行している状況であり、集落営農体制の推進、新規就農者の確保などの担い手対策、農地保全対策、また京丹波産の黒大豆などのブランド化の推進、間伐材の有効活用などに積極的な取り組みを行い、産業の活性化、経営として取り組める農林業の強力な推進が求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>「丹波高原」の風土を活かした京丹波黒大豆や京丹波栗などの高いブランド産品に代表される「食」の文化的価値が数多く潜在しているところである。これら地域特産物の生産を発展させ、新たな加工品の開発や販路拡大と市場拡大に積極的に取り組むこととあわせて、農林業後継者の育成や多様な担い手の確保、組織の育成、食育・木育の推進などにより農林業経営の発展を目指すとともに、農地や森林の荒廃を防止し、これらの持つ多面的機能を維持し資源等の可能性を追求し、次世代へ引き継ぐ風土づくりに積極的に努める。</p>							
	総事業費（千円）	939,666	本年度事業費（千円）	84,807	交付金額（千円）	33,200		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	有害鳥獣対策事業	交付対象事業	シカ、イノシシ等の有害鳥獣駆除に対する報償		平成27年度主な捕獲実績（シカ599頭、イノシシ142頭、サル4頭、アライグマ3頭、ウバシシ6頭、ヌキ4頭、アマガサ4頭、ハシブトガラ6頭、ハシブトガラ1頭）			
	木のぬくもり活用推進事業	交付対象事業	バイオマス燃料利用装置の普及啓発及び導入補助事業、森林資源量解析システム導入		森林資源量解析システム導入 薪ストーブ導入補助 8件			
	木材搬出奨励事業	関連事業	間伐材の有効活用事業に対する木材搬出助成（資源循環）		材積1,760m <sup>3</sup>			
	森林（もり）の文化創造事業	関連事業	幼少期からの「木育（木の良さを感じる心の育み）」と地域材の循環利用促進を実施		「ぬく森のイス」プレゼント事業（製作89台、プレゼント76台）			
	土づくり推進事業	関連事業	堆肥の有効活用助成、資源循環型農業を推進する事業		堆肥による土づくり補助実績 4団体			
	新規就農育成事業	関連事業	新規就農者への活動運営支援		就農者後見人 2名 ハウス使用及び機械使用支援 3件			
住民協働事業	京丹波まるごと観光推進事業	関連事業	京丹波に関わるイベント開催などの「食」の発信事業、新加工品開発などの「食」の創造事業の実施		「京丹波●食の祭典」を平成27年10月25日開催 14,600人来場（対前年2,200人増）			
	特産物作付助成事業	関連事業	ブランド産品等作付助成事業		作付指導 2団体			
住民が取り組む事業	農業振興事業	交付対象事業	営農組合等が整備する機械及び施設に対する補助事業		機械導入（田植機、畦草刈機、畦塗機等）12団体 施設整備（精揉機、生葉切断機、ライセンサー改修等）5団体			
	農地保全対策事業	交付対象事業	営農組合等が整備する農業用施設等の維持改修に対する補助事業		用水路改修、農道舗装等20団体			
	黒大豆・小豆生産加速化事業	関連事業	ブランド産品等作付助成事業		ブランド産品啓蒙推進指導団体2団体			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

成果指標①	成果指標の目標数値	黒大豆栽培面積 90ha		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	35ha
	成果指標の達成状況	▲	(左の理由)	高齢化による管理経営面積の減少及び早めの集荷ができる黒豆枝豆として出荷されるものの増加が増えたための、栽培面積の減少と考えられる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	新規就農者 2名		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	3名
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を1名上回る3名が新たに就農者となった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	京丹波食の祭典入場者数 14,000人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	14,600人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成27年度で5回目となった京丹波食の祭典入場者は、京都縦貫自動車道の開通により前年度と比較して、2,200人の増加となった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	伐採等施業面積 165ha		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	165ha
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	おおよそ目標数値のとおりとなった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	農山村地域特有の行政課題がある中で、有害鳥獣対策事業、農業振興事業、農地保全対策事業等を通じて、農業経営の発展と地域特産物の生産向上を図ることができた。また木のぬくもり活用推進事業、森林（もり）の文化創造事業により豊富な木質バイオマス資源を利活用し、林業振興や循環型社会の形成に寄与できた。				
※未達成の場合も効果を記載すること					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	間伐材を利用したバイオマス燃料の推進の取り組みや堆肥の有効活用を支援することにより、循環型社会形成の促進に寄与できた。又、地元ブランド製品の作付を推進することにより、「食の郷」京丹波を町外にアピールできる地盤を形成しつつある。
	府と市町村等との連携に資する成果	平成24年4月に開設された京都府立林業大学校との連携により、林業後継者の育成及び本町の地域振興と林業振興を進めている。
	住民の自治意識を高める成果	住民自らが農村地域を守るため、農業施設整備、営農環境整備、農業機械導入を実施することで、その実現が図られた。
	リーディング・モデル成果	府内で先進的な木質バイオマス資源（間伐材）の活用を図り、循環型社会の実現を目指すため、森林資源量解析システム導入に取り組み、将来にわたる持続可能な林業の育成を図りつつある。
	広域的波及成果	京丹波「食の郷」プロジェクト創造事業を通じて、京丹波の「食」をテーマに町の魅力を発信し、産業の活性化や地域特産物や加工品のPRにつながった。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	美しい環境づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地球温暖化防止に向けてCO2の排出削減が求められており、また、節電対策が講じられている中で、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの活用の推進に対し積極的な対応が必要である。 また、ごみの減量化やリデュース・リユース・リサイクルの推進、環境美化の推進などの取り組みに対する事業推進が求められている。						
プロジェクトの目的及び概要	美しい環境の中で住民生活が行えるため、エコに対する住民意識も高まっており、クリーンエネルギーの活用として太陽光発電の普及・生ゴミ処理器の普及によるごみの減量化などの対策に対する助成措置を推進するとともに、身近な美化意識の向上のため環境美化作業、環境保全対策にも積極的な取り組みを行う必要がある。						
	総事業費（千円）	44,017	本年度事業費（千円）	1,880	交付金額（千円）	580	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	公害（水質汚濁）対策事業	関連事業	町設置の濁度計による監視経費		上和知川河川等水質検査業務		
住民協働事業	環境保全センター監視事業	関連事業	環境保全センターの監視経費		猪鼻区監視委員会運営補助、瑞穂環境保全センター監視委員会委員報償4名		
住民が取り組む事業	新エネルギー導入事業	交付対象事業	太陽光発電システム導入補助事業		補助交付金 13件		
	資源ゴミ回収助成事業	交付対象事業	自治会・団体等が実施する資源ゴミ回収に対する助成事業		28団体に対し、助成金を交付		
	生ゴミ処理器購入助成事業	交付対象事業	生ゴミ処理器購入助成事業		コンポスト6基、生ゴミ処理機5基		
成果指標①	成果指標の目標数値	太陽光発電導入件数 30件		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	31件		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	補助金制度の浸透、環境意識等により、引き続き積極的な設置が続いた。(27年度新規設置件数13件)			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	資源ゴミ回収量 年間150t		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	115t		
	成果指標の達成状況	▲	(左の理由)	各団体等により、積極的な資源ゴミ回収が行われた。しかしながら気象状況等に左右される部分もあり、目標数値を下回る結果となった。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>環境負荷の少ないクリーンエネルギーへの関心自体はあるが、国の補助金制度の終了に伴い各家庭における太陽光発電システムの居宅への設置が減っていると考えられる。任意団体による積極的な、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）への取組が、美しい環境づくりに寄与できている。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>環境汚染の監視を行い、クリーンエネルギーの活用とともに、環境対策としてゴミの減量、区（自治会）等清掃活動支援、リサイクルに対する助成等を実施することにより環境美化に寄与することができている。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>地域の任意団体等による資源ゴミ回収や清掃活動等を通じて、環境美化に対する意識が高まってきている。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>コンポストや生ゴミ処理機の導入や資源ゴミ回収等によるリサイクル等の推進により排出ゴミの減量化が図れる。</p>

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	安心安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>平成17年10月の京丹波町発足以後「町まちづくり計画」及び「町総合計画」に掲げる基本方針に基づき、安定した行財政運営を推進するにあたっては「町民の安心安全を確保する施策」を柱と位置づけ、町のプロジェクトとして「安心・活力・愛のあるまちづくり」を掲げ積極的な事業展開を行っている。</p> <p>「安心安全」に対しては、高齢者や子ども達をはじめとしたさまざまな弱者対策、住民の健康づくりへの対策及び防災対策、耐震など教育施設、道路の安全対策など幅広い観点からの要望があり、あわせて生命財産に関わり、住民生活に直結する課題であることから、あらゆる安全確保に向けた迅速な対応、対策が住民の方々から行政に対し強く求められているところである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民生活に関わるあらゆる安心・安全対策を積極的に町が取り組むことにより、住民生活の安心安全確保はもとより、住民みずからの安全確保に対する意識向上を図り、住民相互や地域間での互助意識の向上などに結びつくものであるなど、この取り組みが地域間コミュニティの確立及び強化に連動し、ひいては町全体に「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識が浸透し、「災害に強いまちづくり」への礎となる効果が期待できる。</p>							
	総事業費（千円）	533,359	本年度事業費（千円）	7,777	交付金額（千円）	2,940		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施 事業	消防防災対策事業	交付対象事業	災害用備蓄物資の購入、消防防災施設整備			災害用備蓄物資（毛布、食料、飲料水、救急箱）の購入、避難所対策備品（簡易テント購入）の購入、衛生備品（トイレ処理剤）の購入、放射線測定器購入、消防団詰所の修繕（10施設）		
	保育施設安全対策事業	交付対象事業	保育施設に係る危険防止等安全対策工事等			シューズボックス改修工事、屋根修繕工事、屋外照明器具増設工事、渡り廊下改修工事、電気水道工事、砂場日よけ台新設工事		
	健康診査事業	関連事業	がん検診等住民健診の無料実施			健康診査委託料（1機関）、後期高齢者健康診査委託料（1機関）、肺がん検診委託料（1機関）、子宮頸がん健診委託料（1機関）、乳幼児健診委託料（6機関）、妊婦健診委託料（15機関）、フッ化物歯面塗布事業委託料（6機関）、成人歯科健診委託料（15機関）、特定健診委託料（1機関）		
	予防接種事業	関連事業	麻疹、風疹等予防接種の無料実施			国保連合会給付金（DPT、DPT-IPV、DT、MR、子宮頸がん、ヒブ、高齢者インフルエンザ、小児用肺炎球菌、日本脳炎、不活性ボタ）、医療機関各種予防接種委託（51機関）、		
	医師確保奨学金事業	関連事業	へき地勤務医師確保のための奨学金制度			実績0件		
	交通対策事業	関連事業	交通弱者対策、須知高校生通学バス助成事業			33世帯（延105回）		
住民が 取り組む 事業	消防防災対策事業	交付対象事業	行政区所有の消火栓器具整備、防火水槽等の修繕補助事業			消火栓設備事業補助（18区）		
	防犯灯設置補助事業	交付対象事業	集落における防犯灯設置経費補助事業			32区に補助金交付		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	備蓄用食料・飲料水1万人分（廃棄と補充）、非常用毛布 690枚		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	備蓄用食料・飲料水1万人分（廃棄と補充）、非常用毛布 690枚	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	平成19年度から平成23年度まで計画的に購入し、平成24年度から平成27年度までは保存期限が切れる分について新たな年次計画により更新を行っている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>災害時緊急備蓄物資として、約1万人分の食料、飲料水を年次的に購入するとともに、毛布、紙おむつ、簡易組立トイレ等の避難所の物資についても計画的に購入し、多様化する災害に備えている。さらに、原子力発電所からUPZ圏内に位置することから、放射線測定器も配備して、原子力災害にも備えている。また、学校施設及び保育所への安全対策工事や行政区所有の施設に対する補助事業により住民生活の安心安全を確保することができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災対策と合わせて、防犯灯設置補助等の防犯対策を行うことにより、安心安全なまちづくりにつながっている。				
	府と市町村等との連携に資する成果	平成27年11月26日に、原子力発電所再稼動に係る住民説明会を国・府と連携し実施した。				
	住民の自治意識を高める成果	各区が設置している消火栓用備品等の購入補助や防犯灯設置補助等を通じて、住民の防災・防犯意識の向上につながる事が期待できる。				
	広域的波及成果	災害用備蓄物資を、東日本大震災発生直後に被災地に救援物資として輸送した経過もあり、災害時における広域支援の役割も担っている。				
	行財政改革に資する成果	消火栓備品当の購入補助、防犯灯設置補助をはじめ、自主防災組織育成事業（地域力向上プロジェクト）等を通じて、自主防災意識の向上につながる。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	子育て支援と高齢者いきがいづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>少子化にかかる現状としては、子育てに対する支援が強く求められているところであり、こういった住民ニーズに応えるため、子供を育てやすい環境づくりの支援の充実に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、高齢化に対する対策としては、高齢化率については平成17年度31.8%であったのが、直近では34.8%であり今後も上昇していくことが懸念される場所である。社会保障経費の増加に直結しており、できる限り抑制が必要であり、保健、福祉分野にかかわらず総合的な高齢者対策の必要性が求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>子どもを安心して生み育てられるための総合的な支援を更に充実させ環境基盤の確立を目指すとともに、高齢化対策については従来からの施策に加え、新たな生きがい対策などの施策を推進し、高齢者が暮らしやすい環境づくりを推進する。</p>							
	総事業費（千円）	297,926	本年度事業費（千円）	6,919	交付金額（千円）	2,586		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施 事業	チャレンジ学習事業	交付対象事業	中学生の学力の充実・向上を図るため、授業日の放課後等に外部講師を活用して学習事業を実施		外部講師報償：蒲生野中学校（4名）、瑞穂中学校（教師1名）、和知中学校（教師2名）			
	敬老祝賀事業	交付対象事業	100歳（50千円分）、100歳以上（5千円分）、88歳（5千円分）の高齢者へ記念品を贈呈		100歳（12名）、100歳以上（13名）、88歳（198名）			
	すこやか子育て祝金事業	関連事業	出産祝金助成（第1子：50千円、第2子：100千円、第3子以降：200千円）		助成件数：78件			
	心配ごと相談事業	関連事業	心配ごと相談会の開催		京丹波町社会福祉協議会にて実施			
	在宅高齢者等生活支援事業	関連事業	高齢者の外出支援及び食の自立支援委託事業		外出支援（5事業所）、食の自立支援（2事業所）			
	すこやか医療費助成事業	関連事業	医療費助成（外来：3歳～中学卒業まで、入院：中学入学～中学卒業まで）1ヶ月1医療機関につき自己負担200円として差引きの自己負担額を助成		助成金額：18,546千円（年間）			
	地域包括ケアシステム推進事業	関連事業	保健・医療・介護・福祉の連携システムの構築、地域で支える介護力アップを図る。		在宅介護支援事業（相談業務）を町内社会福祉法人等に委託、2級ヘルパー養成講座の実施等			
住民協働 事業	ファミリーサポート事業	交付対象事業	地域での児童預かり相互制度の事業実施委託		提供会員：41人、依頼会員：50人、両方会員：11人 マッチング：14件			
住民が 取り組む 事業	チャイルドシート購入助成事業	関連事業	1子につきチャイルドシート購入費の1/2を助成（上限15千円）		助成件数：48件			
	老人クラブ活動助成事業	関連事業	老人クラブへの活動助成		町老人クラブ連合会へ助成（加盟数：64団体）			



# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	ファミリーサポートセンター事業登録者 90人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	事業登録者延べ102人 (提供会員41人、依頼会員50人、両方会員11人)	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成23年度から開始以来、広く町民の方々へ事業内容が浸透し需用人数及び提供人数が年々増加しており、就労する保護者等への支援が形として現れてきている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>平成23年度にファミリーサポートセンター事業を開始し、初年度は登録者が9人であったが、平成24年度は40人、平成25年度は67人と年々登録者を増やすことができた。実際のマッチングも平成24年度は18件、平成25年度は31件となり、地域での相互援助活動が徐々に定着し就労する保護者等への支援につながった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	すこやか子育て祝金事業やチャイルドシート購入助成事業等を通じて、乳幼児をはじめとする子どもの安全安心の支援及び子どもを守る保護者の負担軽減を図ることができた。				
	住民の自治意識を高める成果	地域での相互援助活動が広がりつつある。				
	その他の成果	すこやか子育て医療助成事業、すこやか子育て祝金事業、チャイルドシート購入助成事業、ファミリーサポートセンター事業等の子育て支援を通じて、若者定住促進につながる。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	地域力向上プロジェクト	実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>総合計画に掲げている「協働のまちづくり」の実現に向け策定した「住民自治組織によるまちづくり基本指針」に基づき、地域における自主自立を基本とした住民自治の確立を目指し、住民自治組織の組織化を進めるとともに、地域による地域づくり、まちづくりの推進を図る。 また、地域づくりの基本となる住民各位や団体が横断的な住民交流や個々のスキル向上のために実施する諸活動に対し積極的な支援が求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>地域における自主自立を基本とした住民自治の確立のため、住民自治組織の設立、育成や活動支援に積極的に取り組むとともに、住民各位の意識向上のためのさまざまな施策に積極的に取り組むことにより自主性をさらに高め、地域リーダーなどの人材育成や地域における自治活動や交流、共助、互助の活動を活発化し、地域愛あふれるコミュニティづくりを推進する。また積極的なまちづくりへの参画を推進するため各種事業に住民の積極的参画を促す。</p>						
	総事業費（千円）	94,692	本年度事業費（千円）	4,211	交付金額（千円）	1,500	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
住民協働事業	国際交流事業	関連事業	姉妹都市である豪州ホークスベリー市との住民相互交流及び町内国際交流団体の運営活動費補助		豪州ホークスベリー市への中学生派遣及び短期留学生受入れ（派遣・受入双方6名、各1回、約1ヶ月） 京丹波町国際交流協会に助成		
住民が取り組む事業	自治振興推進事業	交付対象事業	区等の活動拠点となる施設整備や地域活動に対する補助事業補助率1/2上限5,000千円		集落公民館（公民館改修2区、複写機購入：5区、空調設備設置1区）		
	協働のまちづくり推進事業	交付対象事業	まちづくり交付金（組織の活動助成）事業（均等割：1組織200千円、人口割：1人50円）		7組織に助成		
	自主防災組織育成事業	関連事業	自主的な地域防災活動推進のため、町内各集落毎に自主防災組織設立するための経費助成		1区に助成		
	ボランティアロード事業	関連事業	京丹波町の玄関口である国道9号線の丹波ICから府立丹波自然運動公園前までの間の住民参加による美化作業経費補助		4月開催（参加者：133名）、7月開催（参加者：122名）、10月開催（参加者：90名）		
	公民館地域活動推進事業	関連事業	町内にある生涯学習や社会教育を担う公民館事業に係る運営活動経費補助		町内活動公民館（4組織）		
	社会教育団体育成事業	関連事業	青少年の健全育成、人権意識の向上啓発推進活動、女性の社会活動参画推進、地域文化の継承などに尽力する団体に係る運営費補助		6団体に助成		
	社会体育団体育成事業	関連事業	児童から高齢者まで所属し活動する町内社会体育団体の運営活動費補助		京丹波町体育協会に助成（加盟10団体）		
成果指標①	成果指標の目標数値	住民自治組織 9団体		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	8団体		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	平成22年度当初時点で5団体が、平成23年度で2団体が、平成25年度で1団体が組織を立ち上げ、平成28年3月31日時点で合計8団体が組織され、概ね目標が達成できている。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>住民自治組織を対象としたまちづくり交付金を通じて協働のまちづくりが推進できており、更なる住民自治組織の立上げに期待するところである。 また、少子高齢化が進行する中で、各区の活動拠点となる施設（公民館）の維持管理に苦慮されている中で、施設のバリアフリー化や耐震診断等に対する補助を行うことにより区の負担軽減に寄与できた。それぞれの施設は、災害時の避難場所としての機能も有しており、区民の安心安全にもつながる事業である。更に、住民組織による町有施設活用に向けた施設修繕を行い、地元施設の有効活用をしてもらえることができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>災害時の避難所となる各区の公民館等に配備する災害用資機材や備蓄物資の購入等に対する補助を行う自主防災組織育成事業により、自治振興推進事業等とともに組織活動を支援することができた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>自治振興推進事業、協働のまちづくり推進事業及び自主防災組織育成事業等を推進することにより住民自治組織の充実と意識の向上を図ることができる。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>住民自治組織と行政による協働のまちづくりの推進</p>

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	3つの京都推進プロジェクト（京丹波町）		実施期間	平成27年度～平成29年度	テーマ	その他（3つの京都）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p> <p>【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が低い。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。</p>							
	総事業費（千円）	14,706	本年度事業費（千円）	14,706	交付金額（千円）	6,614		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施 事業	森林（もり）の文化創造事業	交付対象事業	公共施設の木質化及び木製備品設置により一体的な木育拠点〔木育ひろば開設〕を創設する循環利用促進事業	中央公民館子供室木質化工事 備品購入（木の砂場、本棚、円卓、つみき、子供用ブックベンチシェルフ、幼児ベンチシェルフ）				
	木のぬくもり活用推進事業	交付対象事業	バイオマス燃料利用装置の啓発に資する公共施設への薪ストーブ設置	公共施設1箇所に設置				
	京丹波まるごと観光推進事業	交付対象事業	情報発信機器による来訪者への情報発信の高度化	京丹波味夢の里情報発信機器導入1基				
	長老苑を核とした熱利用促進事業	交付対象事業	木質バイオマスエネルギー利用による森林活用	登記測量業務				
住民協働 事業	丹波くり振興事業	交付対象事業	丹波栗の生産振興助成	4団体に助成				
	長老ヶ岳登山道環境整備事業	関連事業	新たに国定公園の指定地される長老ヶ岳への登山道の支障木除伐環境整備	事業未実施（平成28年度に事業実施）				
	町有林緑化事業	関連事業	育樹祭のイベント事業として町内小学生の植樹体験実施、森づくりの推進	備品購入（苗木、植樹祭用スコップ、植樹祭用真砂土）				
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	木質ひろば利用者数 年間3,600人		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)		3,500人		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	中央公民館子供室木質化と併せて木の砂場等を設置し、身近に木とふれあう機会を創出したことにより、利用者が増加した。				
成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ②	成果指標の目標数値	公共施設薪ストーブ設置数 6施設	成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	6施設
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	平成27年度は、公共施設1箇所に薪ストーブを設置した。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	木質チップ目標消費量 179t (H29)	成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	-
	成果指標の達成状況		(左の理由)	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	平成28年度において、木質バイオマス熱供給システムを構築し、平成29年度より運用を開始するため (時期) 平成30年3月31日
成果指標 ④	成果指標の目標数値	くり生産面積 47.1ha	成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	48.0ha
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	質の高い丹波ブランドの需要や生産補助制度の充実により、生産面積は年々増加傾向にある。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	森林（もり）の文化創造事業や木のめぐもり活用推進事業、丹波くり振興事業を通じて、町の豊富な森林資源の活用や特産物の更なる振興に寄与できた。また、町の玄関口である京丹波味夢の里に情報発信機器を設置し、来訪者に観光情報等町の魅力をPRすることができ、観光者増加につながる呼び水としての機能を果たすことができた。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。			
本プロジェクト に対する自己評価	関連事業との連携効果	育樹祭イベントで、啓発や植樹体験を実施し、林業振興に寄与することができた。		
	リーディング・モデル成果	府内で先進的な木質バイオマス資源の活用を図り、循環型社会の実現を目指し、将来にわたる持続可能な林業の育成を図りつつある。		
	広域的波及成果	町の玄関口である京丹波味夢の里に情報発信機器を設置したことにより、町外からの来訪者に町の魅力をPRすることができた。		